

令和5年度 港区関連予算（案）概要

資料D-1

【1 区長（区CM）が関与する予算額】

（単位：千円）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（案）
港区役所予算	959,095	961,388	1,157,545	1,504,815	3,064,776	3,385,828
うち区長自由経費	343,206	352,487	549,859	913,073	2,497,177	2,852,395
うち区CM自由経費	615,889	608,901	607,686	591,742	567,599	533,433

※ 人件費除く

区長自由経費は、区庁舎設備維持費や防災対策事業など、区へ財源配分され区が実施する事業の経費です。

区CM（シティ・マネージャー）自由経費は、スポーツ施設指定管理運営費や公園管理運営費など、区で調整を行いますが、局へ財源配分され局が実施する事業の経費です。

それぞれの事業別予算については、別紙をご参照ください。

【2 重点的に取り組む事業】

○（仮称）区画整理記念・交流会館整備事業〈令和5年度予算額：2,477,702千円、令和4年度予算額：2,178,837千円〉

【概要】 弁天町駅前土地区画整理記念事業の記念施設として、広く区民に役立ち、今後のまちづくりに貢献する公共施設「（仮称）区画整理記念・交流会館」の整備に伴う建設工事を行う。

【工夫点】 区民意見を踏まえ策定した基本構想に基づき、区民センター、老人福祉センター、子ども子育てプラザを集約、図書館を移転・拡張することにより幅広い世代の活動・交流を促進する。

○不登校生徒支援事業〈令和5年度予算額：5,327千円、令和4年度予算額：3,898千円〉

【概要】 不登校による学力低下・進学・就職等への影響は将来の貧困につながりかねないことから、不登校からの回復に向けた支援を行い、貧困の連鎖や新たな貧困を生むことを抑制する。

【工夫点】 区内中学校を対象に、ボランティアサポーターによる登校支援や学習支援に加え、校内に居場所の開設を行い、不登校からの回復に向けてボランティアベースで対応できる支援に取り組む。

○**児童虐待未然防止・早期発見強化事業** 〈令和5年度予算額：4,846千円 令和4年度予算額：4,960千円、〉

【概要】 保育施設への虐待リスクの判断や対応についての指導や助言、課題を抱える妊婦や母親等への妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援により、児童虐待の未然防止・早期発見を図る取組を強化する。

【工夫点】 保育施設への巡回により連携を強化するとともに、課題を抱える母親等を対象に、心理士や保健師など専門職の連携による育児相談・教室を開催し、適切な支援につなげる。

○**港区エリア別活性化プラン等の推進** 〈令和5年度予算額：8,787千円、令和4年度予算額：6,004千円、〉

【概要】 令和3年4月策定の「港区エリア別活性化プラン」に基づき、港区の各エリアの特性に応じた中長期的なまちづくりを推進していく。

【工夫点】 万博開催やIR誘致の動きにより注目を集めている弁天町駅周辺エリアの一体的なまちづくり方針の策定を行う。また、各エリアの地域資源を活用した新しいまちづくりや先端技術の展開につなげるための実証実験を実施するとともに、定期的なマーケットの開催など人が集まる仕組みを活用して個性あるまちの魅力を発信する。

○港区プレイスメイキング事業 〈令和5年度予算額：9,767千円〉

【概要】 公共的な空間において、万博の機運醸成やSDGs意識の向上に資するイベント等の開催を支援するため、国産木材を使用したイスやテーブル等を制作し、港区に訪れる人々の交流と憩いの空間の創出を図る。

【工夫点】 国産木材を使用したイスやテーブル等の制作ワークショップの実施に併せ、制作したイス等を市岡商業高校跡地などのオープンスペースに設置してイベントを開催し、大阪・関西万博の機運を盛り上げるため万博ブースの設置やPRを行うとともに、にぎわい空間の創出を図る。